

## 東北大学史料館 新公開資料速報展 (第5回)

2009.4 東北大学史料館

# 東北大学第一期生の学業生活

(創立期理科大学の受講ノートと卒業式答辞)

にしたに おおうえ しげたか  
- 西谷(大上)茂喬関係資料 -

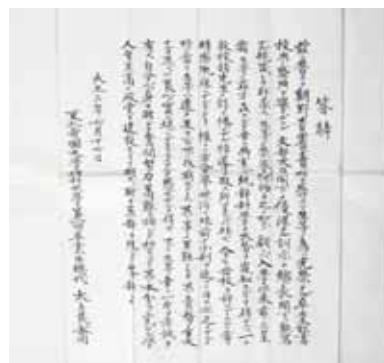
東北帝国大学理科大学数学科の第一回卒業生で、旧制佐賀高校教授などをつとめた数学者、西谷(大上)茂喬(1880-1957)の資料が2008年に御遺族より寄贈されました。その一部を史料館の新公開資料展示コーナーで公開しています。

大上茂喬氏(のち西谷に改姓)は、東京高等師範学校(筑波大学の前身)を卒業した後、和歌山県の中学校教諭をつとめていましたが、1911年(明治44)東北帝国大学理科大学が発足したとき、旧制高等学校出身者以外にも受験資格が認められたことをうけ、教職を辞しその第一期生として数学科に入学しました。当時大上氏は31歳でした。

今回の展示では、(1)東北帝国大学在学中の講義受講ノート(*Coordinates Geometry and Contact Transformations*: 藤原松三郎教授 / *Analytical Dynamics*: 愛知敬一・石原純助教授 ほか)と、(2)1914(大正3)7月の卒業式で学生総代として読んだ答辞原本を中心に紹介しています。(1)は開学当時の東北帝国大学理科大学での教育内容を知る資料として、(2)もまた第一回卒業式の関係資料として、創立期の東北大学の学業生活を伝える貴重なものです。



理科大学時代の受講ノート



卒業式答辞